

ひびき

山梨県立甲府支援学校

Tel 055-226-3322

URL <http://www.yogoy.kai.ed.jp/>

障害に負けない

校長 山本 剛

あの東日本大震災から6年の月日が流れました。

今年の3月に仙台を訪れる機会があり、レンタカーを借りて海沿いの町を走りました。車窓からは、あの大きな津波が町を襲った形跡が見えました。その一方で、整地されたい道路が走り、新しいショッピングモールなどが建設されていました。

あの記憶を残そうとする一方で、人々は生活を再建し、新たな人生を歩み始めていることを実感しました。私が見学した展示館には、日本中、世界中から応援旗やアルバムによる励ましのメッセージが寄せられていました。その励ましを胸に復興してきた東北の人々に対して、「人間てすごいな」「人間て強いな」と素直に感動しました。

震災を乗り越えた仙台市青葉区に住む兄弟がいます。その兄弟は、3歳から進行性筋ジストロフィーと戦ってきました。現在、兄は45歳、弟は38歳です。二人とも人工呼吸器を装着し、経管で栄養を摂取しています。気管切開のため声が出せないので、指先のわずかな力でマウスを動かしてパソコンで意思を伝えています。

できることができなくなる度に、呼吸が苦しくなる度に、何度も絶望の底に突き落とされ、自分の命の灯火が消えていくことを実感してきました。しかし、自分の自由を奪い、苦しめられた筋ジストロフィーは、「自分を成長させてくれた」。その思いに至った時から、二人は新たな挑戦を始めました。兄はベッドに寝たまま指先をわずかに動かしてパソコンで「花の絵」を描きます。命ある限り描くと決めました。描いている時に生きている実感があります。弟もまたパソコンで指先をわずかに動かして「五行の詩」を書きます。長時間パソコンに向かっていると体調を崩すことがありますが、そんな時は、お母さんが「どんなことが起きても、動じない心を持つんだよ」とカツをいれてくれるそうです。弟もまた命の限り詩を作ると決めています。

その兄弟が、震災で被害に遭った岩手県石巻市で作品展を開催しました。石巻を選んだのは、震災の被害に遭いながらも懸命に生きる人たちから勇気をもらったから、今度は二人で力になりたいと考えたからです。兄が描いた絵に弟が五行の詩を添える。「作品で少しでも勇気を届けたい」との思いは、石巻の人たちに届きました。反響は大きく、読者カードやブログにたくさんの声が寄せられ、兄弟には大きな励みになりました。

どんな障害があっても、負けない心で自分たちの使命を果たしていく、この兄弟のエピソードから、私も勇気をもらいました。そして、障害のある人と障害のない人が共に生きる共生社会を築くために、甲府支援学校ができることにしっかりと取り組んでいきたいと思いました。

学校時代は、その人らしい自立に向けた学習を積み上げていきます。そして、多くの人とのかかわりという財産を蓄えていきます。甲府支援学校がこれまで積み上げてきた肢体不自由教育の専門性と本校配置のPT・OT等外部専門家の専門性を生かし、センター的機能をさらに発揮して、地域の幼稚園等、小・中学校、高等学校を支援していきますので、今年度もよろしくお願いたします。



授業公開のご案内



【オープンスクール】

日時:平成 29年 6 月24日(土)

9:10~12:30

日程

9:10~ 9:30	受付
9:30~9:50	学校概要説明
10:00~10:45	2校時 参観
10:50~11:35	3校時 参観
11:40~12:00	4校時 参観
12:00~12:30	給食 参観

ご参加の皆様には、授業の様子を自由に参観して
いただきたいと思います。*

2校時、3校時、4校時前半は、各学部の児童生徒
の実態に応じた個別課題学習あるいは教科学習、グ
ループ別集団学習を参観していただきます。*

4校時の後半からは、食事の指導の様子を寄宿舍
廊下から見学していただきたいと思います。*

本校では、児童生徒の実態に応じた4段階の形態で
給食を提供しています。初期食・中期食・後期食・普通
食です。見本食を用意し、試食もできるようになって
いますので、ぜひお試しください。また、皿やスプー
ン・フォーク・箸などの食具も実態に応じたものが用
意されていますので、合わせてご覧ください。*

【教育相談・訪問支援のお知らせ】

本校では、甲府市、山梨市、甲斐市、笛吹市、甲
州市、中央市及び昭和町の地域にお住まいで、

- ・体に不自由がある
- ・体の動きがぎこちない、不器用である
- ・上手に食べられない
- ・会話がうまくできない
- ・就学について悩んでいる

などで困っている保護者や教職員の方の相談を
受けています。詳しいことは本校のホームページ
でご覧いただけます。また、相談内容によっては、
専門家による訪問支援も可能です。

本年度の専門家は次の三人です。

PT(理学療法士)高村 裕子 先生

OT(作業療法士)高見澤 幸恵 先生

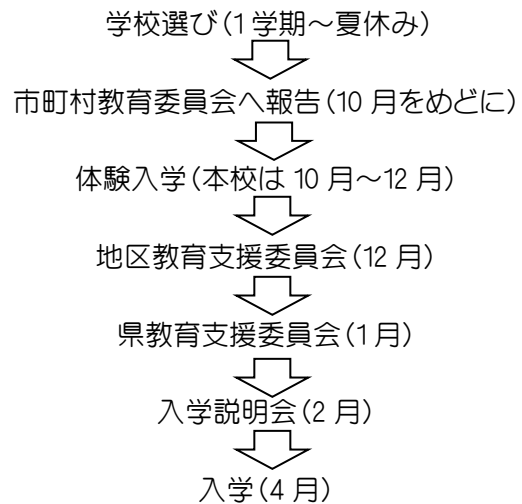
OT(作業療法士)石井 孝弘 先生

コーディネーターの紹介

今年度は、長田佳美、山本貴子、横森修、
稲垣友香の4人が特別支援教育コディ
ネーターとして支援に当たります。

精一杯努力してニーズに答えていきたい
と思っておりますので、よろしく願います。

就学手続きの流れ



このような流れで手続きが進みます。早めの
対応を心がけ、ゆとりをもって入学の日を迎
えましょう。

甲府支援学校

地域支援・就学担当 長田 佳美

Tel:055-226-3322

E-mail:chiikishien@yogoy.kai.ed.jp